

ビルメンテナンス業におけるその他の装置、設備を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	3~4	剥離作業で床の汚れを削っていた際、横に倒して端に寄せていた机が倒れてきて頭にぶつかり負傷した。	29	10~29
1	15~16	文化教室での机の片づけ作業中に、同じ作業をしていた者が、机の天板を広げようとしたところ、広げきれずに机が倒れてしまいその際に本人の左足に当たり、裂傷と解放骨折を負った。同時に机をよける際に右腕をひねったものである。	63	—
1	19~20	バキューム清掃作業中に、バキュームに意識を集中させていたところ、バランスを崩し、足を捻ってしまった。	56	300~499
1	10~11	通常の勤務場所ではないマンションの清掃に応援で入ったところ、マンション住民よりトイレトーパーがないので取ってほしいと頼まれ、靴を脱いで休憩室の押し入れから取り出し渡す際に、慌てて座敷机の脚に左足をぶつけ、足指が腫れあがった。その後も勤務を続けたが、あまりの痛さと腫れがあり、後日に左足指指先を骨折していることが分かった。	57	—
2	10~11	客室のベッドメイキングで、スプリングマット下のベッドの台に足をかけた際に踏み外し、横に置いてあったテーブルに左脇を打ちつけて受傷した。当初は、痛みを我慢して労働していたが、その後、あまりの痛みにより受診した。	69	30~49
2	13~14	9階にて客室清掃中、置き型テーブルの脚に左足薬指を引っ掛けた。一週間経過しても痛みが引かない為、病院でレントゲンを撮った結果、骨にひびが入っていた。	65	100~299

2	8~9	中央棟の手術室で、掃除機を使用し清掃していたところ、掃除機のコードが足にからまり転倒した。	70	30 ~ 49
3	9~10	店舗外のゴミを回収中、直前の回収場所にゴミを置き忘れ確認しようとしたが、今いる場所からは建物が邪魔で見えなかった。歩いて戻って確認するよりも駐車場へ出て見た方が早いと思い、走って自転車置場をくぐり抜けようとしたが、輪止め用の鉄製の横棒の存在に気づかず激突し、左ひざの下辺りを強打した。	69	50 ~ 99
3	11~12	病院内個室での床拭き掃除中、椅子を持ち上げる際に体勢を崩し、ベッドの柵で腰を打撲負傷した。	70	500 ~ 999
4	10~11	店のバックヤードで、清掃で使用して汚れたダスターに掃除機を掛けようとコードをコンセントに差し込む際、ジャバラホースに足がからまり、両足が開脚してしまった。その時に左手で体を支えようとして、掃除機に肘をついたところ痛みが発生した。	64	100 ~ 299
5	9~10	清掃中に清掃用具保管庫のシンクへ汚水を捨てようとバケツを持ち上げた際、腰椎を捻挫した。	45	300 ~ 499
5	14~15	事務所6階会議室にて窓枠清掃後に窓を閉める際、窓のドアひもが外に出ていたため左手で取ろうとしたところ窓が閉まってしまい、右手人差し指が挟まり裂傷した。	56	1~ 9
5	15~16	教室内の設営道具置場で、清掃道具を取りに行く時に、設置してある棚に額を強打し切傷した（縫合3針）。	66	300 ~ 499
5	13~14	ホテル客室清掃中に包布を入れ込む作業中、前かがみで作業していたところ腰痛が発生した。数日間は通常通り作業をしていたが、徐々に腰痛が激しくなった。	37	300 ~ 499
	12~	客室清掃中に、しゃがみ込んで冷蔵庫内の確認をした際、お尻を後方のローテーブル		50

6	13	ルにぶつけ、はずみで目の前の家具に左額を強打し、打撲と診断された。	59	～ 99
6	14～ 15	B3F機械室内にて、空調機（電気室系統）の点検で、同伴者とともに電源およびブレーカーOFFを確認の上、Vベルトを左手で送りながら継ぎ目の確認作業を実施した際、空調機モーターが惰性運転で完全停止しておらず、ベルトを送っていた指がプーリー（ベルト送り）に挟まれ、左手人差指の先を切断した。	53	10 ～ 29
6	9～ 10	清掃員が病院東病棟の床をモップで清掃中、汚れが落ちないため力を入れて床を拭いていたところ、背中にズキツとした痛みが出た。痛みが引かず、MRI検査を受けた結果、腰椎圧迫骨折と診断された。	72	100 ～ 299
6	7～8	部屋床面に掃除機を掛けようと、掃除機のプラグをコンセントに差し込もうとしたところ、掃除機のコードが足に引っ掛かりそうになった。コードを避け、左足側面（外側）から着地し踏ん張った際、足首を捻った形となった。	70	300 ～ 499
6	13～ 14	現場1階の溝を掃除中、外していた為柵のグレーチング（溝蓋：大きさ45cm×46cm×5cm、重さ約10kg）の側面を両手で持ち、元に戻そうと上から両手を離れたところ、左手を離すのが遅れたため、中指・薬指を挟み負傷した。	67	500 ～ 999
6	14～ 15	熱源室にて、冷却水ポンプのストレーナーを清掃中に、ストレーナーの蓋（蓋の上部が蝶番方式で蓋を持ち上げてスクリーン脱着する）を閉める際に手を滑らせ、蓋が勢いよく閉まってしまった。その際、右手指先をストレーナーと蓋との間に挟まれて、指を負傷した。	21	10 ～ 29
7	10～11	ベットメイク中、テーブルの脚に引っ掛かり、転倒し、足を動かせられなくなった。	61	100 ～ 299
7	17～18	お客様の自宅の清掃業を終え、会社に戻り、清掃道具を車から降ろしているときに、床洗浄機を左膝の上で受け止めた。翌日床洗浄機を受け止めていた箇所がうっ血していた。	78	10 ～ 29
7	10～ 11	客室清掃中、クローゼット上部の棚にある予備の布団を取ろうとしたが、手が届かなかったため、丸いゴミ箱を台にして取ろうとした際にバランスを崩し後方に転倒	76	500 ～

		し尻を強打、腰部を痛めたものである。		999
7	13~ 14	応援先の客室において、掃除機をかけているとき、棚の下に置いてあるゴミ箱を移動させるために屈み、元の体勢に戻ろうとしたとき、棚の角に額をぶつけ受傷した。	46	300 ~ 499
7	8~9	管理物件（ビル）の9階女子トイレにて清掃作業中、トイレの外開きの扉を開けて清掃作業をしていたところ、何かのはずみで扉が閉まり、誤って右手親指を挟んで負傷した。	79	10 ~ 29
7	14~ 15	作業中、シンクに給湯器のお湯を出したとき、熱湯（約100℃）が右手にかかり火傷した。	63	300 ~ 499
9	10~ 11	シーツめくりの作業中にバランスを崩し、床に右膝を打ちつけて転倒した。	68	10 ~ 29
11	11~ 12	当社工場3階角折包装機ラインにて、休憩明けの作業再開時に、包装機に付着したチョコレートをタオルで拭き取る作業中、機械の裏側に付いていたチョコレートを拭こうとした際に、機械の電源を切らずに行った為、タオルと一緒に巻き込まれて右手を挟み負傷した。	73	30 ~ 49
12	14~15	スポーツジムのシャワー室でボディソープの補給の際、ボディソープの容器に付着しているソープ液を洗い落とす為に、シャワーを使用した。その際、重いシャワーヘッドがとれて落下し、右足小指にぶつかり、大きく赤く腫れた。	47	100 ~ 299
12	11~12	清掃作業中に掃除機のコードに足が引っかかり体のバランスを崩して転倒して左膝を強打し、負傷した。業務終了後、膝の痛みが強くなり、病院で診察を受け入院した。	78	500 ~ 999
12	13~14	客室清掃時にベッドを移動させるため、両手で持ち上げたところ右手が滑り、勢いよく壁に強打し、右手の小指を打撲した。	65	10 ~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html